



国際会議 海外派遣・留学 主要外国人の来訪 国際協力 余剰兵器解体プルトニウム処分協力

1. 国際会議

1.1 国内

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2004年 7月28～29日	大 洗	JNC/FZK (独カールスルーエ研究所)「国産鉄鋼材料の鉛ビスマス中共合金腐食性評価試験」に関する会合
8月3～4, 6日	東海, 幌延	JNC/SNL (米国エネルギー省サンディア国立研究所)「地層処分システムの性能評価及び実験的研究」に関する会合
8月5～6日	東 海	JNC/LBNL (米国エネルギー省ローレンスバークレー国立研究所)「水理・物理移動: サイト特性調査及び予測技術」に関する会合
8月18～19日	敦 賀	JNC/SNL (米国エネルギー省サンディア国立研究所)「もんじゅを利用した透明性フレームワーク共同研究」に関する会合

2. 海外派遣・留学

期 間	派 遣 ・ 留 学 先	目 的
2004年7月～2005年6月	仏国CEAサクレー研究所	熱疲労ベンチマーク試験等への参加

3. 主要外国人の来訪

訪 問 日	訪 問 場 所	訪 問 者
2004年 7月12～13日	大 洗 東 海	米国エネルギー省 (DOE) 原子力科学技術局諮問委員会小委員会委員
2004年 8月27日	東 海	米国DOE原子力科学技術局運営・管理担当部長等

4. 国際協力

4.1 文部科学省原子力研究交流制度に基づく協力
研究者受入れ計画14名中の12名の受入れを実施。次年度の研究者受入れ研究テーマの取りまとめ実施。

同制度に基づく講師の派遣計画、合計6テーマについて関係国へ派遣調整実施。

4.2 国際特別研究員制度に基づく研究者招へい
同制度による研究員2名の離任。現在、合計8名が在籍 (東海4名及び敦賀, 本社, 大洗, 瑞浪の各1名) している。

研究報告会を9月16日に開催し、10名の研究報告を行った。現在、会議報告書を作成中。

2005年度の研究者募集案内を8月末に開始。併せて在籍研究員の延長調査を実施中。

5. 余剰兵器解体プルトニウム (解体プル) 処分協力

5.1 解体プル処分に係る日露共同研究

(1) ロシア解体プルトニウムを高速炉BN600¹⁾で燃焼処分する3体デモ照射は、ロシア原子炉科学研究所 (RIAR²⁾) との共同研究契約に基づき実施中である。現在、照射後試験として燃料ピ

ンの非破壊試験（燃焼度測定，残留ガス分析）を終了し，最終報告書を取りまとめている。

(2) BN600安全解析は，ロシア物理エネルギー研究所（IPPE³⁾）との共同研究契約に基づき，BN600のハイブリッド炉心化に際しての安全性について評価及び解析を終了した。

(3) RIAR施設整備は，RIARとの共同研究契約に基づき，BN600ハイブリッド炉心へ燃料供給する設備増強のための改造を実施している。改造後の設備性能を確認するための燃料集合体1体を試作することにしており，この検査項目等の検討を開始した。

(4) 21体デモ処分は，解体プルトニウムを振動充填法によりMOXバイバック燃料集合体（21体）とし，高速炉BN600で燃焼処分するRIAR（株）ベスコとの共同研究である。RIAR（株）ベスコとの間で「MOXバイバック燃料集合体の製造・照射共同研究」の契約を8月20日に締結した。また，この共同研究を円滑に進めるために（株）

ベスコとの間で協力協定を8月6日に締結した。8月23～26日にRIARにて第1回のレビュー会合を開催し，9月に納入予定の計画書類について確認した。

5.2 解体プル処分に係る海外の動向調査

(1) 米露間で検討中の核兵器解体に伴って発生するプルトニウム処分に関する米露の取組み及びその他の国際動向について，情報収集の契約に基づき，公開資料，米国行政担当者等へのインタビューを通じ，調査を行っている。

- 1) BN600 : Buistrui Neutron (Fast Neutron)600ロシアの高速原型炉
- 2) RIAR : Research Institute of Atomic Reactors 原子炉科学研究所
- 3) IPPE : Institute of Physics and Power Engineering 物理エネルギー研究所

（本社：国際・核物質管理部）